

利用者提供データベース

XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB のサービス終了について

汎用大型コンピュータ-MP5800 (OS:VOS3/FS) 上で稼働している 4 種の利用者提供データベース「結晶構造 XDCUTL」、「蛋白質立体構造 PDB」、「核酸配列 NUCDB」、「蛋白質配列 PSDB」については、本誌 7 月号に記したセンター提供の化学文献情報データベース CASTOR と同様に、2001 年 2 月末をもってサービスを終了することとなりましたのでお知らせいたします。以下を参考に、代替となる検索手段についてご検討くださるようお願いいたします。

1. 結晶構造データベース

Cambridge Crystallographic Data Centre が編集する「Cambridge Structural Database」のサービスは、京都大学大型計算機センター (<http://www.kudpc.kyoto-u.ac.jp/>) において引き続き行なわれています。またこのデータベースの配布 CD-ROM を購入したいときは、大阪大学蛋白質研究所 (<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>) 蛋白質立体構造データ解析研究系にご相談ください。なお当センター教官によるワークステーション上でのサービスは、XDCUTL 終了後もしばらくの間、継続します。

2. 蛋白質立体構造データベース

「Protein Data Bank (PDB)」は、現在は Research Collaboratory for Structural Bioinformatics (RCSB) (<http://www.rcsb.org/pdb/>) が編集しています。このデータベースの検索は、同機関のほか、大阪大学蛋白質研究所 (上記 URL) においても行なうことができます。

3. 核酸配列データベース

核酸塩基配列データベースの編集は、日欧米 3 機関による共同事業として行なわれており、我が国では国立遺伝学研究所生命情報研究センター内の日本 DNA データバンク (<http://www.ddbj.nig.ac.jp/>) が「DNA Data Bank of Japan (DDBJ)」を作成しています。また、欧州では European Bioinformatics Institute (EBI) (<http://www.ebi.ac.uk/>) が「EMBL Nucleotide Sequence Database」を、米国では National Center for Biotechnology Information (NCBI) (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/>) が「GenBank」を作成しており、各機関とも検索サービスを提供しています。

4. 蛋白質配列データベース

蛋白質アミノ酸配列については、Protein Information Resource, National Biomedical Research Foundation (<http://www-nbrf.georgetown.edu/pir/>) が「PIR-International Protein Sequence Database」を、また Swiss Institute of Bioinformatics (SIB) (<http://www.expasy.ch/>) が「SWISS-PROT」を編集しており、両機関とも検索サービスを提供しています。

(システム管理掛、アプリケーション支援掛)